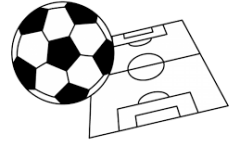




喜びの輪を広げたい8



たった一人のサッカークラブ

私の担当している〇〇園サッカークラブは3歳児3名、4歳児1名で3・4歳児クラスは4名です。4歳児の〇〇くんは3歳児のときからずっと学年で1人のサッカークラブ員で、来年からは5歳児になるので、『来年、僕1人のサッカークラブ』とさみしがっておりました。

私は他の子ども達がサッカーに興味を持ってくれるよう、自由遊びの時間にサッカーをして、声をかけ続けましたが『やりたくない!』と言われてたり、『お母さんがダメっていう』と言われてたり……1人入会していただくことがこんなに難しいのかと落ち込んでいました。

しばらくして、ずっと誘っていた4歳児の□□くんが、『△△先生!ぼくサッカーやりたい!やる!』と言ってきてくれました。『先生もやりたい!嬉しい!けどね、お母さんとお父さんがサッカーやっていいよって言ってくれないとサッカークラブできないの』と伝えました。その後も□□くんのご両親とお会いすることが難しく、□□くんの気持ちを伝えることができませんでした。

しかし今日、〇〇園を出ようとしたとき、『すみません、サッカークラブの先生ですか?うちの子がサッカーやるサッカーやりたいと家でずっと言っていたので、入会させたいのですが、今からでもできますか?』と話しかけてくださいました。すると、そこに今まで1人だった〇〇くんが通りかかり、『ヤッター!ふたりで、やっと一緒にサッカーできるね!!!』とハグをしながら大喜び。その光景を前に、なんていとおしいんだと思い、私も思わずふたりを抱きしめてしまいました。

ふたりのためにも、必ず楽しい、楽しいサッカークラブにします!



ご両親を喜ばせたい

サッカークラブの目的「お父さんお母さんを喜ばせること」

12/15 世田谷大会決勝がありました。お父さんお母さんを感動させようと当日円陣を組み話をしました。練習したこと以上のプレーが全員で出来、見事優勝することが出来ました。お母さんやお父さんと抱き合い、保護者の嬉し泣きする姿に子供達からも涙が自然と出ていました。努力は裏切らない。最後の閉会式での姿も立派でした。コスモサッカーで成長させます。

